

平成26年度事業報告書

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

1. 平成26年度事業の概要

歴史を生かしたまちづくりにたいせつな歴史的資産を都市計画の視点から戦略的に調査・保全を開始してから27年が経過しました。本年も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史資産を保全し、魅力溢れるまちづくりに向けて調査研究等を積極的に実施いたしました。

さらに歴史的資産を生かしたまちづくりを推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーやシンポジウム、見学会等を開催いたしました。

これは、歴史を生かしたまちづくりのための普及啓発、人材育成をより推進するものであります。

平成26年度において実施した具体的な事業は以下のとおりです。

2、歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）の概要

（1）歴史的建造物保全・活用計画関連調査

（ア）歴史的建造物保全・活用関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するため調査を実施いたしました。

この調査では、現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、文献調査、写真撮影等の作業を実施いたしました。

調査結果は、当調査会の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」の内容に活用するとともに、具体的な歴史的建造物保全・活用するために役立てることといたしました。

（イ）歴史を生かしたまちづくり市民相談室の開設と実施

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を集める相談室を開設いたしました。

年度末までに13件の相談が寄せられ、当調査会、横浜市、神奈川県を担当部署と定例会議を開催し、その対応を検討し、専門家や神奈川県ヘリテイジマネジャー他の協力の元、調査を実施しました。

その結果、「鈴木家長屋門」を横浜市認定歴史的建造物にするなど具体的な保全・活用に至ったほか、修理や保全の具体的なアドバイスを行うなど成果が生まれています。

（2）普及啓発、人材育成事業

（ア）自主企画セミナー、シンポジウム（自主事業）

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには市民、専門家、企業の理解や参加が大切であると考え、歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたセミナー、シンポジウム、見学会他を以下のとおり開催いたしました。

① 「旧三井物産(株) 横浜支店倉庫の保存を考える緊急シンポジウム」

・ 第一回 平成26年8月5日（火）横浜市開港記念会館

参加者：120名

・ 第二回 平成26年10月2日（水）さくら WORKS

参加者：80名

② 「シルクロード・ネットワーク・横浜フォーラム」

【見学会】平成27年3月14日（土）日本大通り～帝蚕倉庫

参加者：80名

【講演会・事例報告・展示他】 横浜市開港記念会館

平成27年3月15日（日）

参加者：140名

*全国の絹文化関係者と「シルクロード・ネットワーク」を発足

③ コンサート in ヘリテージ「ピアノが案内する歴史とまち vol.4」

平成27年3月23日（月）横浜市イギリス館

参加者：40名

(イ) 歴史を生かしたまちづくりセミナー他（受託事業）

歴史的資産の保全・活用に関して市民、専門家、企業等からの理解や協力、支援を目指して、横浜市都市整備局、保土ヶ谷区、戸塚区他からの受託事業としてセミナー、ワークショップ等を開催した他、歴史を生かしたまちづくり「横濱新聞」第30号の発行を行いました。

① 「旧東海道 まちづくり、道づくりワークショップ」

平成26年9月22日（月）保土ヶ谷区公会堂 40名

② 「見て、聞いて、知って、昭和の戸塚～旧東海道の今と昔～」

平成26年10月27日（水）戸塚区役所 50名

③ 歴史を生かしたまちづくりセミナー

「今に生きる古民家の保存と再生」

平成27年2月21日（土）神奈川県庁 旧議場 80名

講師 村上和子、大野 敏ほか

④ 鉄棧橋竣工120年記念事業「ダイサンバシ大学」

第1回「原三溪とヨコハマ」平成26年8月20日（水）

講師 西 和夫 30名

第2回「ヨコハマ船物語」平成26年8月27日（水）

講師 今野洋一 30名

第3回「鉄道遺産を生かしたまちづくりと観光」

平成26年9月10日(水) 講師 米山淳一 30名
第4回「元町の賑わい」 平成26年9月24日(水)
講師 近澤弘明 30名
第5回「ヨコハマの歴史を生かしたまちづくり
～地域の歴史文化を大切にする～」
平成26年10月8日(水) 講師 山本博士他 40名

⑤ 横浜市開港記念会館利活用検討会

第1回 平成26年7月30日(水)

第2回 平成26年9月17日(水)

第3回 平成27年3月18日(水)

委員：吉田鋼市、堀 勇良、嶋田昌子

3. その他収益事業等の概要

(1) 収益事業

平成26年度においては、収益事業として刊行物の販売を行いました。

| | |
|----------------------|------|
| ◎都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物 | 212冊 |
| ◎横浜の土木遺産 | 32冊 |
| ◎横浜の歴史を生かしたまちづくり25年史 | 50冊 |
| *ヘリテージカード付 | |

(2) その他の事業

・支援体制（会員事業）

当調査会の事業の益々の発展を目的に継続的な支援をうるために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテージサポートクラブを幅広く会員募集を行いました。

そして、会員向け情報紙として、季刊「ヘリテイジスタイル」を発行いたしました。